

## 2025年3月度理事会 議事録

1. 開催日時：2025年3月24日（月）15時～17時30分
2. 開催場所：〒104-0045東京都中央区築地1-13-1銀座松竹スクエア4階  
大阪シーリング印刷株式会社 会議室
3. 出席者：高島代表理事、佐々島理事、佐藤理事、本宮理事、  
事務局メンバー）サトーホールディングス株式会社 宇敷様、  
王子タック株式会社 高橋様、大阪シーリング印刷株式会社 大橋様、  
リンテック株式会社 加瀬(記)

### 4.議案：

#### <J-ECOL 資源循環セミナーについて（高島代表理事）>

日時：2025年4月21日（月）17:00～18:00 ※受講締め切り4月18日（金）

講師：佐藤泉弁護士事務所 佐藤泉先生

J-ECOL の会員を中心に 30 名程度の申し込みあり。今後、全日シールにもセミナー情報を共有する。これまで J-ECOL に対して、コンタクトした会社にも案内を入れたい。

コメント：過去、コンタクトのあった会社のアドレスを抽出して高島代表に連絡する（大橋様）。

#### <使用済み剥離紙譲渡企業（剥離紙排出元）に対応した回収スキーム構築について（高島代表理事）>

※剥離紙を資源として無償で提供いただく前提で「譲渡」と表現している。

譲渡企業（20kg 程度）からの問い合わせが増えているが、運用面（輸送方法、輸送費やベール化の加工費など）での課題があるため、円滑に進められるスキーム構築が必要。回収 BOX のスキームを運用が可能か検討を行いたい。

#### 回収 BOX スキーム案

収集企業（印刷コンバーターなど）に回収 BOX を設置。剥離紙回収方法は、使用済み剥離紙譲渡企業が回収 BOX 設置場所に持ち込む、もしくは、商習慣のある BOX 設置企業が事業活動の中で剥離紙を持ち帰る。回収された剥離紙は、BOX 設置企業が古紙業者に元払いで送る。古紙業者からの加工費の請求が煩雑になるため、加工費込みの段ボール箱を購入する形で、進められないか？また、J-ECOL が加工費込みの段ボール箱を古紙業者から購入して、会員への特典として提供することで、会員へのベネフィットになるのではないか。いずれにしても回収 BOX 運用の検証が必要。

コメント：

- ・法律的に問題無いのであれば、加工費込みの段ボール箱提供は会員へのベネフィットになる。（佐藤理事）  
⇒佐藤弁護士に問題無いか確認する。もっと段ボール箱が欲しいと言われた場合は、使用済み剥離紙譲渡企業が古紙業者から購入もできるし、BOX 設置企業が購入して譲渡企業に渡すことも可能。（高島代表理事）
- ・受け入れた剥離紙の中身が問題無いかの確認は、  
収集企業が、受け入れ時に箱の中身を確認して、ラベル、印字損紙、コアが入っていないか極力注視する、収集企業へ周知する、中身の確認に協力して頂ける古紙業者様を探す、と考えている。（高島代表理事）  
⇒古紙業者では、段ボール箱の場合、そのまま粉砕機に入れるので中身を点検できない可能性あり。ビニール袋の場合はビニール袋を除くため、ある程度目視点検できるが、その分手間賃がかかる可能性がある。（佐々島理事）
- ・回収 BOX の実証実験を行うべく J-ECOL 専用段ボール箱を作ってほしい。（高島代表理事）  
⇒人が運べる重さは目安として MAX.20kg だが、例えばコピー用紙 20kg 用の箱を用意しても使用済み剥離紙は嵩があるので手で圧縮しても半分の 10kg 程度しか入らない可能性があり、宅配便大きさ料金と重量のバランスを考える必要がある。輸送効率と費用を加味すると 3 辺合計 120cm が良さそう。運用を進めるため、段ボール箱の見積りを算出する。（佐々島理事）  
⇒エリアを限定して実証実験を進める。（高島代表理事）

### <J-ECOL の啓蒙活動に使えるツールの提案（博展 鈴木様）>

博展は、展示会・イベントの企画立案、既存概念にこだわらずいろんな視点からテーマを表現するクリエイティブ企画会社。剥離紙の認知度向上を目的に J-ECOL 活動周知、営業ツールに使える販促ツール案を頂いた。販促ツール案は、使用済み剥離紙を活用した絵巻。使用済み剥離紙をリユースして作られており、剥離紙の活用方法や J-ECOL 活動を絵巻に印刷したもの。現在、プロトタイプを作成しているため、できたら回覧する。

### <24 年度に実施したトレース実証実験のフィードバック（宇敷様）>

実証実験の結果を改めて共有。7 社から 12790kg 排出したデータを取得。企業間の入出荷のデータが取得できた。可視化されることで、確実に加工処理された足跡が残った。また、不法投棄防止、エビデンスの発行につながる成果が得られた。

課題と対策：

- ・メンテナンス中にアクセスできず、データが反映されなかった。⇒手入力による修正を可能とする。
- ・譲渡企業→古紙回収企業→リサイクラーと決められたルートでしか運用できない。⇒自由に設定できるようにする。
- ・剥離紙回収頻度が多くなった場合に、利便性向上が必要となる。⇒利便性が向上するように改善していく。

今後の予定：

- ・日付、時間に加えて重量データも入力可能にする。
- ・あらかじめ登録した企業間で自由に選択可能とする。
- ・回収 BOX を設け、剥離紙回収の効率化につなげる。
- ・剥離紙回収を希望する譲渡企業の参加を募り、回収スキームの間口を広げる。
- ・剥離紙回収率の可視化できるようにする。

コメント：

- ・日本製紙(株)様での取り組み状況（茶谷様）

現場意見として、QRコードのIDが段ボール中に入っていたので、送り状のように段ボール外側のポケットにしてほしい。今後量が増えていくと当日処理することが難しくなるかもしれない。入荷出荷欄に未記入のものがあつた。古紙問屋から出荷された時点で払い出しの考えにできないか等の意見があり。

⇒入出荷欄の未記入に関しては、データがうまく反映されなかった場合の記入欄であり、データが反映されていれば記入する必要は無い。運用が徹底出来ていなかったことも反省点。これらのご意見をもとに次ステップに活かしていきたい。（宇敷様）

- ・(株)日誠産業様での取り組み状況（草野様）

QR コード読み取りの簡略化を希望。古紙としての受け入れ、製造ラインへの投入と複数回読み取りがあつたため、回数を減らせないか。⇒簡略化ができるか、最適な運用方法も決めて次回進める。（宇敷様）

- ・(株)サトー北上事業所（永山様）

QR 読み込みなど、特に問題無く、ダッシュボードの運用も問題無し。

⇒ダッシュボードの見方など説明不足な部分もあつたため、事前に説明するようにする。（宇敷様）

- ・(株)サンエー化研

QR 登録作業できたが、編集と削除ができなかった。

⇒データに不具合生じた場合、手入力に対応できるようにする。（宇敷様）

以上